

日野市観光協会だより

第38号 (令和5年3月発行)

特定非営利活動法人 日野市観光協会
http://www.shinsenhino.com/



日野を全国化する為、 一丸となり頑張っています！

ガイド部長 芹川 孝一

会員の皆様、こんにちは！この3年間、新型コロナウイルスの猛威で社会全体(人・物・金)が縮み込み観光にとっては大変な逆風と為りました。癸卯・令和5年を迎え、漸く全国で諸イベントが復活、人の動きも活発となつて参りました。政府も諸規制の緩和に踏み切り、5月8日に季節性インフルエンザ並みの感染症5類へと緩和を発表しました。規制解除が早すぎるのでは？との思いも有りますが、今後、以前の姿に戻っていくのかを見守りたいと思います。ただ、当面は、マスク・アルコール消毒・ソーシャルディスタンスの対策を堅持していくつもりです。

【ガイド部】の仕事の一つは、公的資料館である①「新選組のふるさと歴史館」②「日野宿本陣」での《展示施設の説明業務》が有ります。全国から来訪される幕末歴史・新選組ファンに《日野宿と新選組》を精力的に説明して居ります。次に「史

跡巡り」の《ツアー・ガイド業務》が有り①ガイドが自主的に募集するもの②協会に申し込みが来る一般のものが有りますが、現在何れも中止して居り、新年度から復活するべく考えている所です。又、ガイドの知識のスキルアップの為《研修会兼講演会》を実施して居りますが、沢山の市民が参加され嬉しき限りです。

以上の通り、現在お客様とは接触しない様、工夫しながら説明して居りますが、徐々に緩和する方向で対応せざるを得ないかと考えて居ります。

尚、皆様に再認知して知見を増やしていただくようお願いが有ります。それは、「本陣」が《聖蹟》であるという事です。東京都内で唯一残っている本陣建物で市指定有形文化財であると共に《聖蹟》である事を日野の誇りにしていただきたいと思うからです。明治13年・14年と2度迄も明治天皇が行幸された由緒ある所で、冠木門を潜ると文部大臣が建立した《明治天皇のおんしょうきゅうじょとおよびたてものつきごぜんすい日野御小休所跡及建物附御膳水》と刻印された石柱が有ります。山岡鉄舟・三条実美・伊藤博文等歴史上の人物が足跡を残しており《新選組の聖地》であると云う事と共に広く啓蒙していただければ幸甚に思う次第です。

※行幸とは天皇がお出かけになること。その訪れた場所を「聖蹟」という

第51回 高幡不動尊菊まつり 10月28日(金)～11月17日(木)



天候に恵まれ、例年にも増して多くのお客様が「菊まつり」会場にお見えになりました。

不動堂の後ろにある「古典菊」のコーナーには、普段なかなか目にすることがない「江戸菊」「肥後菊」「嵯峨菊」が展示されました。

特に「嵯峨菊」は平安時代の都・京都で貴族が愛でた、花卉がとても細く淡桃色のとても可憐な花です。今も「お茶会」のときなどに飾られています。

来年は貴族になったつもりで鑑賞してみてください。
(菊まつり部 山下和美)

会 員 研 修

12月2日(金)

新型コロナウイルスが流行してから3年が経ついても感染者が増減し日帰り研修も出来ない中、



参加者は少数でしたが東京都観光関連事業者向けセミナーを利用し、「地域の総合力で稼ぐエリアマネジメントとは」と題して講習会を行いました。

講師・吉澤勉先生によると・全国の観光地でもおまつりやイベントの企画がスムーズに進まず、行政との関わりの仕方で苦慮している・次世代に残していく為の後継者の確保が難しい・告知、集客はSNSを活かしているとのこと。出来るところは参考にいたしたいと思います。

(研修部長 丸山祐幸)

高幡不動尊^{せつぶんえ}節分会

2月3日(金)

本年の節分会での福袋販売は、昨年よりも多い500個とし、開催前には事業部員を中心に7名の御協力をいただき福袋を用意しました。当日は一時雪の予報もありましたが、午前中は陽射しの見える時間もあり、参詣の方の出足も昨年よりも大幅に多く、また219個の事前予約もあったため、福袋は午後1時過ぎに完売することができました。

豆撒式は5回開催されました。3年ぶりに大きな賑わいを見せ、U字工事、つのだ☆ひろ、笛木優子、寺泉憲、協会会員である岩崎愛子さん等の「福は内」の掛け声で豆が撒かれ、境内は大きな



福に包まれました。

袋詰め、豆煎式、販売まで御協力いただきました方に改めまして御礼申し上げます。

(事業部長 亀山孝一)

もうすぐ開花、日野市さくらの開花宣言標本木



2018年(平成30年)に高幡不動尊のご協力を賜り、日野市観光協会が定めた「日野市さくらの開花宣言標本木」(事務所前のソメイヨシノ)。毎年5～6輪が咲いた日に日野市観光協会理事長による開花宣言を行い、ホームページ等でお知らせをしています。制定から約4年経った2022年(令和4年)2月に日野市観光協会(広報部)で劣化が目立つ表示に変えて、新しい「日野市さくら開花宣言標本木」のプレートを製作・設置しました。今年は開花が早いとされる東京の桜。古木ながら多くの花をつける標本木は、皆様の癒しとなることでしょう。(広報部)

第56回 伸びゆく日野市写真コンクール

応募期間 令和4年12月13日(火)～令和5年1月13日(金)

「伸びゆく日野市写真コンクール」が開催され、60名の方から333点の応募がありました。昨年に比べ、応募作品数が微減となりましたが、新たに応募された方が10名以上もおり、新しい視点の作品がより増えて参りました。市内での行事や人の流れも増えつつあることから、明るく賑わいのある人や風景の作品が出品されるようになりました。今後は行事がさらに増えることを期待しております。

2月17日(金)に審査が行われ、推薦・特薦、協賛企業等による特別賞(13賞)を含む23賞の受賞作品が決まりました。残念ながら本年も表彰式は開催いたしませんでしたが、次回は状況を踏まえつつ開催できたらと思っています。御協力いただきました皆様、ありがとうございました。なお、入賞作品は3月27日(月)まで日野市役所1階に展示されます。是非、足を運んでください。(事業部長 亀山孝一)



推薦(日野市長賞)「冬晴れ、どんど焼き」 設楽誠一さん



特選(日野市議会議長賞)
「もうすぐ一年生」 佐藤保治さん



特選(日野市観光協会理事長賞)
「雨にあでやか」 渡辺邦昭さん



全入賞作品は、こちらから

京王百草園 梅まつり開催

2月4日(土)～
3月12日(日)

園内にある約500本の可憐な梅が彩る季節に合わせ、2月4日(土)から3月12日(日)まで毎年恒例の「京王百草園梅まつり」が開催されました。

期間中は様々なイベントがおこなわれたほか、期日限定で営業時間を延長し「梅のライトアップ」を行い多くの来園者から好評を得ていました。



これからの行事予定

5月13日(土)・14日(日)
第26回ひの新選組まつり

6月12日(月)
日野市観光協会定期総会

6月1日(木)～30日(金)
高幡不動尊あじさいまつり

令和4年11月23日(水・祝)に開催を予定していた「第15回たかはたもみじ灯路」は、雨天のため中止となりました。

観光事業の功績に対し表彰



令和4年度日野市表彰に於いて、井上雅雄氏(ガイド部)に長年の観光事業の功績に対し生活文化功労章が授与されました。お祝い申し上げます。

日野市観光協会の歩み 1958年(昭和33年)、日野町・七生村が合併し都立多摩動物公園が開園した年に日野観光協会として発足しました。1987年(昭和62年)日野観光協会から日野市観光協会へと名称を変更し、2006年(平成18年)3月28日に「特定非営利活動法人」の認可を受けました。その間、「菊まつり」「新選組まつり」をはじめ多くの事業を実施し2005年(平成17年)には事務局を「日野宿本陣」の敷地内に移転しました。

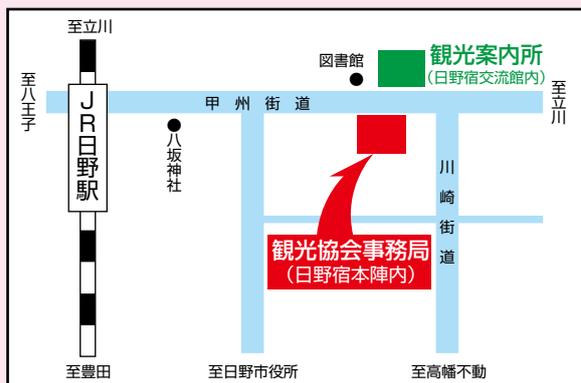
バナー広告主募集

現在、日野市観光協会ではバナー広告主を募集しております。ぜひご検討ください。

(サイド月額 会員2,500円 一般5,000円)

特定非営利活動法人日野市観光協会 事務局

9:00AM～5:00PM 月曜休(祝日の場合は翌平日)
〒191-0011 東京都日野市日野本町 2-15-9
TEL(042)586-8808 FAX(042)586-8961
E-mail info@shinsenhino.com



会員募集

特定非営利活動法人日野市観光協会では会員を募集しています。日野市の観光や新選組、その他イベント等に興味のある方の入会をお待ちしています。詳しくは事務局までお問い合わせください。

編集後記

コロナが蔓延して約3年、ロシアによるウクライナ侵攻が始まって約1年、この間も広報部では粛々と観光だよりを発行しております。毎年同じように行っている行事も、時代背景により内容が変わってきます。それぞれの出来事を追いかけている当誌をご覧いただき、新たな物語を感じていただければ嬉しく思います。編集作業を通じて月日の移ろいを正面から見つめる時間となりました。(N)